

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No228

(新著の紹介)

## 特別支援教育にアクティブ・ラーニングは追い風？ 涌井恵先生（白百合女子大学人間総合学部 准教授）

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。  
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

## (ご紹介)

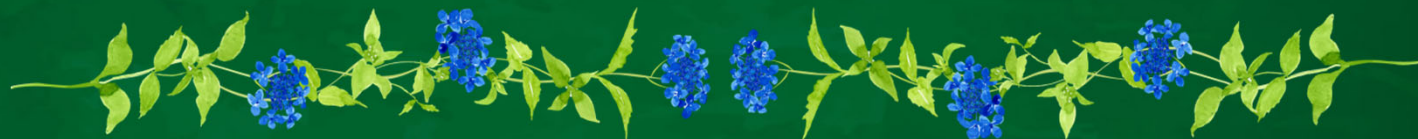


涌井 恵

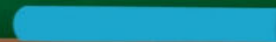
わくいめぐみ

白百合女子大学人間総合学部 発達心理学科准教授

東京学芸大学大学院連合学校教育研究科（博士課程）単位取得満期退学。博士（教育学）。  
国立特別支援教育総合研究所主任研究員、英国Leeds大学客員研究員を経て現職。公認心理師、臨床心理士、特別支援教育士スーパーバイザー。



- ・涌井恵(2006) 発達障害児の仲間同士の相互交渉促進に関する研究—社会的スキル訓練における集団随伴性の有効性 風間書房
- ・レイチェル ジャネイ, R. & スネル, M. E. 著/高野久美子・涌井恵 監訳 (2011) 子どものソーシャルスキルとピアサポート—教師のためのインクルージョン・ガイドブック 金剛出版





涌井恵（編）（2023）. 特別支援教育とアクティブラーニング—一人ひとりの違いを活かす通常学級での教え方・学び方— 金子書房

- 第1章 多様性のある通常学級におけるアクティブラーニング  
——一人ひとりの「違い」を活かす主体的・対話的で深い学び（涌井 恵）
- 第2章 アクティブラーニングの基礎知識—協同学習の視点から  
(関田一彦)
- 第3章 アクティブラーニングによる学級経営（栗原慎二）
- 第4章 自己調整学習とアクティブラーニング（伊藤崇達）
- 第5章 学校全体でアクティブラーニングに取り組むために  
(原田浩司)
- 第6章 「個別最適な学び」「協同的な学び」の肝は「価値のインストラクション」にある（石川 晋）
- 第7章 【実践紹介】多様な子どもたちのいる学級で進めるアクティブラーニングの実際

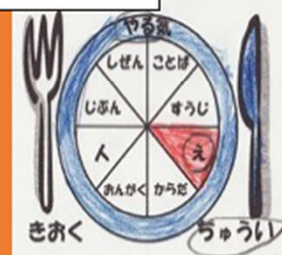


# 学び方の選べる授業

体、ことば、人、自分の力を使う  
ペープサートで

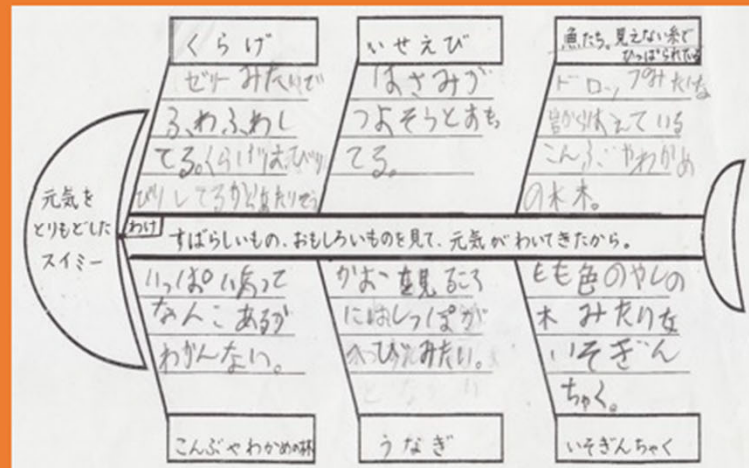


海の中の  
すばらしいものや  
おもしろいもの



絵の力を使う 挿絵を描く

絵やことばの力を使う  
思考ツールの活用





涌井恵（編）（2023）. 特別支援教育とアクティブラーニング—一人ひとりの違いを活かす通常学級での教え方・学び方— 金子書房

- 第1章 多様性のある通常学級におけるアクティブラーニング  
——一人ひとりの「違い」を活かす主体的・対話的で深い学び（涌井 恵）
- 第2章 アクティブラーニングの基礎知識—協同学習の視点から  
(関田一彦)
- 第3章 アクティブラーニングによる学級経営（栗原慎二）
- 第4章 自己調整学習とアクティブラーニング（伊藤崇達）
- 第5章 学校全体でアクティブラーニングに取り組むために  
(原田浩司)
- 第6章 「個別最適な学び」「協同的な学び」の肝は「価値のインストラクション」にある（石川 晋）
- 第7章 【実践紹介】多様な子どもたちのいる学級で進めるアクティブラーニングの実際

## No20(心理学)

#5 「主体的に学習に取り組む態度」と密接に

関係する自己調整学習の学術的説明を聴く

—伊藤崇達先生(九州大学准教授)にインタビュー—



それではご覧ください

【新刊紹介】

特別支援教育とアクティブ・ラーニング

一人ひとりの違いを活かす  
通常学級での教え方・学び方



涌井 恵

(わくい めぐみ)

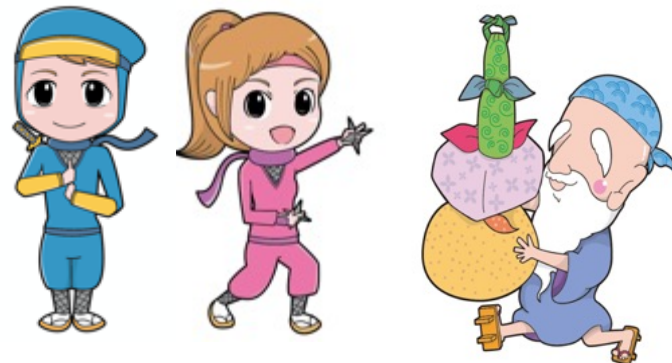
 白百合女子大学



# 自己紹介

- 白百合女子大学人間総合学部発達心理学科 准教授
- 元 国立特別支援教育総合研究所 主任研究員
- 通常の学級 通級による指導 特別支援学級 特別支援学校
- 応用行動分析学による、知的障害児や発達障害児を対象にしたソーシャルスキルや集団指導に関する研究 → 集団随伴性 (group-oriented contingency)
- **発達障害のある子どもの在籍する通常学級でのユニバーサルデザインな協同学習や、自己調整学習、学び方を学ぶレッスンに関する研究**

## [スイミーとふろしき忍者・先生プロジェクト]



ブログ：ふろしき忍者修行日記



# 本書の目次



第1章 多様性のある通常学級におけるアクティブラーニング  
—— 一人ひとりの「違い」を活かす主体的・対話的で深い

学び 涌井 恵

第2章 アクティブラーニングの基礎知識-協同学習の視点から

関田一彦

第3章 アクティブラーニングによる学級経営 栗原慎二

第4章 自己調整学習とアクティブラーニング 伊藤崇達

第5章 学校全体でアクティブラーニングに取り組むために

原田浩司

第6章 「個別最適な学び」「協同的な学び」の肝は

「価値のインストラクション」にある 石川 晋

第7章 【実践紹介】多様な子どもたちがいる学級で進める

アクティブラーニングの実際

# 本書の目次

## 第7章【実践紹介】多様な子どもたちのいる学級で進める アクティブラーニングの実際

1. 通常学級における「協同学習」を取り入れたユニバーサルデザイン  
の授業づくり 嶋崎博一

2. 児童が学び方を選び、学び合う授業の実践

—— 小学校低学年国語科でのマルチ知能を活用した授業づくり 堀川知子

3. かけざんっておもしろい! チームで覚えるかけざん九九

—— マルチピザを活用した通常の学級における「かけ算(第2学年)」の実践

畑中由美子

4. 小学校理科での実践「いろいろなこん虫のかんさつ(3年)」 小野典利

5. 「自ら学べる力」をつける家庭学習 田中博司

6. 6年間で育成する自ら考え自ら工夫して学ぶ

—— 「学び方を学ぶ」ことに特化した授業の展開を探る 久武孝弘



## アクティブ・ラーニングと授業・学習のユニバーサルデザイン化

「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」(文部科学省, 2022)

通常の学級に在籍する  
特別な教育的支援を必要とする児童生徒

小中学校 8.8%      高等学校 2.2%

➡ ユニバーサルデザインの授業

# 「令和の日本型学校教育」における「子供の学び」の姿について

## 「子供の学び」の姿

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、  
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる  
(アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善)  
小中学校の学習指導要領解説総則編(文部科学省, 2017)



「子供の資質・能力の育成」

## 個別最適な学び【学習者視点】(=個に応じた指導【教師視点】)

「子供が自己調整しながら学習を進めていく」

### 指導の個別化

- ✓ 子供一人一人の特性・学習進度・学習到達度等に応じ、
  - ✓ 教師は必要に応じた重点的な指導や指導方法・教材等の工夫を行う
- 一定の目標を全ての子供が達成することを目指し、異なる方法等で学習を進める

### 学習の個性化

- ✓ 子供一人一人の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、
  - ✓ 教師は一人一人に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供を行う
- 異なる目標に向けて、学習を深め、広げる

## 協働的な学び

- ✓ 子供一人一人のよい点や可能性を生かし、
  - ✓ 子供同士あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働する
- 異なる考え方が組み合わせたり、よりよい学びを生み出す

- アクティブ・ラーニングの推進 = 特別支援の充実の追い風
- 一人ひとりの認知特性や学び方の違いや多様性へ応える必要性 (CAST, 2011; Hinton & Fisher, 2010)
- 「協働的な学び」を行いながら同時に「個別最適な学び」をいった知的に充実することは不可能ではない！

## “主体的・対話的で深い学び”の成功のポイント

- (1) 一人ひとりの学び方の多様性を前提とする  
要支援児に限らず、一人ひとり認知特性や学び方が異なっている  
(CAST,2011; Hinton & Fisher, 2010)
- (2) 成功する協同学習の6つの条件
- (3) 集団随伴性に関する研究知見から
- (4) 学びのユニバーサルデザイン (UDL) (CAST, 2008 ; 2011)

## “主体的・対話的で深い学び”の成功のポイント

- (1) 一人ひとりの学び方の多様性を前提とする  
要支援児に限らず、一人ひとり認知特性や学び方が異なっている  
(CAST,2011; Hinton & Fisher, 2010)
- (2) 成功する協同学習の6つの条件
- (3) 集団随伴性に関する研究知見から
- (4) 学びのユニバーサルデザイン (UDL) (CAST, 2008 ; 2011)

# 協同学習の6つの基本要素の関係図 (涌井, 2016)

(参考 : Johnson, Johnson, & Holubec, 2002)





# 協同を促すときの教師の立ち位置



## “主体的・対話的で深い学び”の成功のポイント

個人随伴性：徒競走 （自分の行動で強化が決まる）

集団随伴性：駅伝 クラス対抗リレー、代表リレー

（グループまたはグループの代表の行動で強化が決まる）

(3) **集団随伴性**に関する研究知見から

班活動・・・競争と協力

**※クラス全体単位の協同・協働を促すのがよい（涌井, 2017）**

(4) 学びのユニバーサルデザイン（UDL）（CAST, 2008 ; 2011）

## “主体的・対話的で深い学び”の成功のポイント

- (1) 一人ひとりの学び方の多様性を前提とする  
要支援児に限らず、一人ひとり認知特性や学び方が異なっている  
(CAST,2011; Hinton & Fisher, 2010)
- (2) 成功する協同学習の6つの条件
- (3) 集団随伴性に関する研究知見から
- (4) 学びのユニバーサルデザイン (UDL)  
→UDL3原則(CAST,2011 ; 2018)  
多様なオプションの提示：①取り組み、②提示、③行動と表出



# 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて

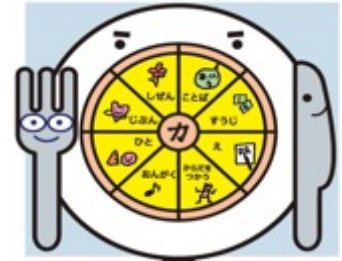
## 多様な子どもが学ぶ通常の学級での授業づくりのポイント

### 1. 焦点化, 明示化

授業のねらい、子どもが何を学ぶのか、授業のゴール・山場を焦点化し、子どもに明示する。

### 2. マルチ知能化

視覚化だけでなく、多感覚で様々な知能が活用できる授業内容にする。



### 3. 共有化と協同化

協同的な活動を通して、体験や感情を共有し、  
親和的かつ個々の違いを尊重する仲間集団を育てる。

### 4. 自律化と自律の自覚化

様々な知能を**選べる**授業内容にする。

学習における自己選択・自己決定の機会を増やし、自己調整を促す。

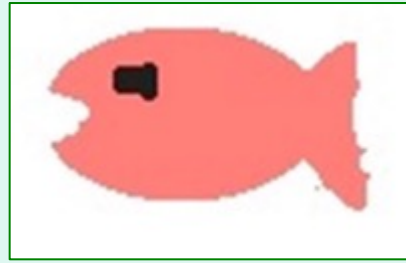


# スイミーとふろしき忍者・先生プロジェクト

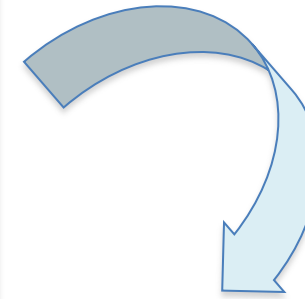
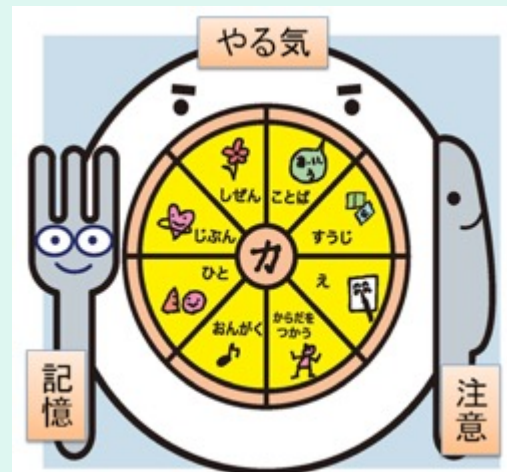
→「全ての子供たちの可能性を引き出す，個別最適な学びと，協働的な学びの実現」



協同学習／学び合い



学び方＝マルチ知能の活用  
学び方を学ぶ授業

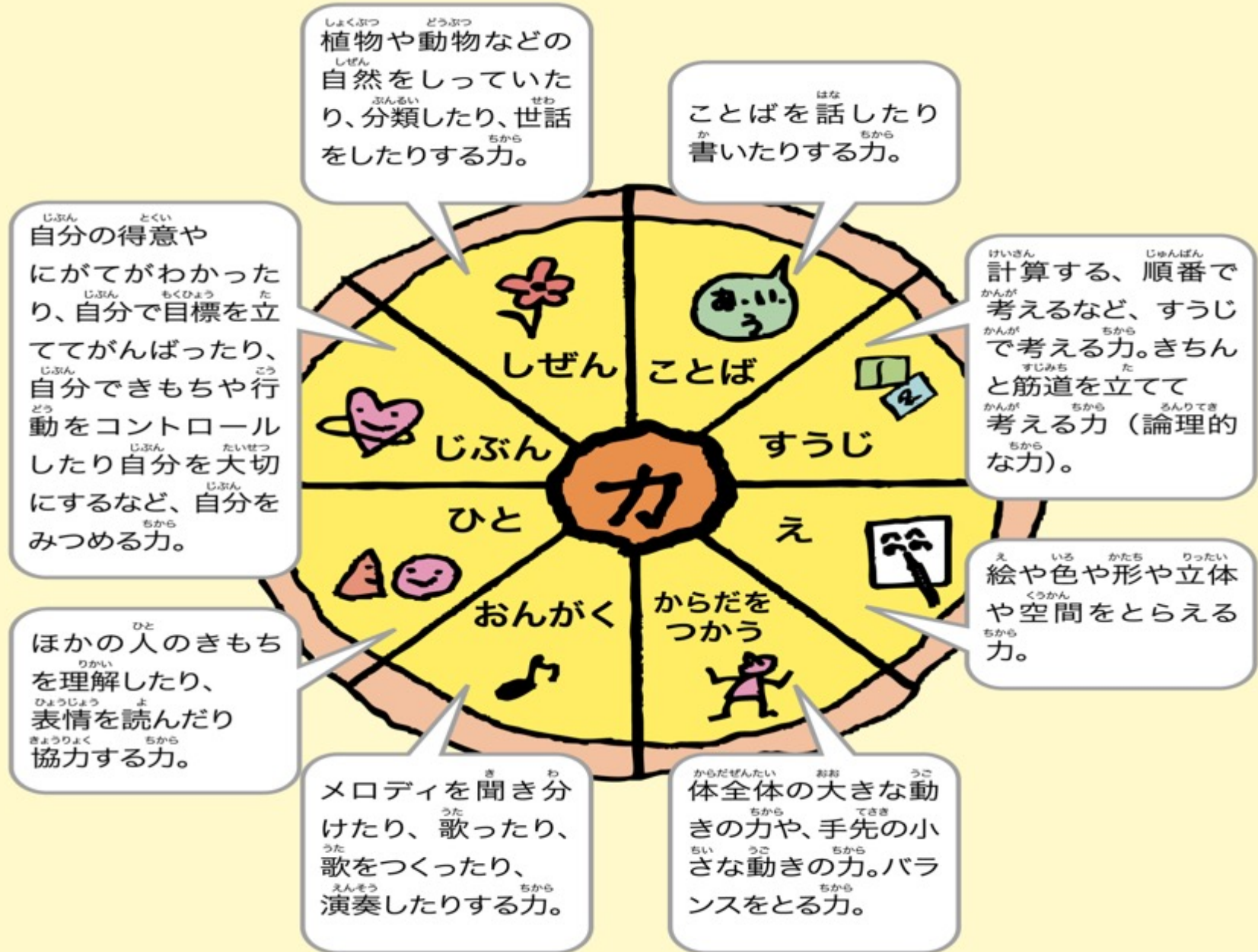


主体的、自律的に学べる子

# マルチ知能の8つの力

(H・ガードナーが提唱)

※中央のピザはマームストロング著『マルチ能力が育む生きる力』(小学館)を参考に作成。



# やる・き・ちゅのコツ

## 子どもに配布した下敷き



←ダウン  
ロードはこ  
ちら

### きみには たくさんの 力が ある!

きみには どんな力が あるかな?どの子もみんな、力をもっています。なんと、それは ひとつではないんだ。だれもが 8 + 3の力をもっています。自分に どんな力があるか、見つけていきましょう。



#### マルチピザの8つの力

何かを考えたり、学ぶときに、8つの力の中で、使う力もあれば、使わない力もある。けれど、いろんな力をたくさん使った方が、わかりやすく、おぼえやすくなる。



#### やる・き・ちゅトリオの3つの力

「やる気」「記憶」「注意」(やる・き・ちゅ)は頭を使うときに、いつも使っている力。マルチピザの力を うまく使えるように、ささえてくれている力。

#### やる気のコツ

- ① すきなことと勉強を結びつけると、やる気がアップするよ。
- ② イライラ／くよくよのときは、心をリラックスさせよう。
- ③ がんばっていることをほめてくれたり、「きみならできる」と、はげましてくれるサポーターを決めておこう。  
→おうちの人、先生、友だちなど



#### 記憶(きおく)のコツ

- ① おぼえるときのコツ
  - ・マルチピザの8つの力をいっぱい使おう。
  - ・「くりかえし」の天才になろう。
  - ・おぼえることを好きなことと結びつけて考えよう。
- ② 頭の中で考えたり、計算したりするときのコツ
  - ・大事なことはメモに書き、見ながら考える。
  - ・やることの順番をチェックリストに書く。



#### 注意のコツ

- ① よけいなものはしまう。
- ② 重要なことばやポイントに印をつけて目立たせる。
- ③ 一度に一つのことをする。
- ④ よくねて、生活リズムをととのえる。
- ⑤ ストップ、考えよう!  
やる前に、一度止まって考えよう。
- ⑥ スケジュールや手順表を用意し、おわったことに印をつけていく。

子どもの実態と学年に応じて子ども用の『「学び方を学ぶ」テキスト』(涌井, 2014)



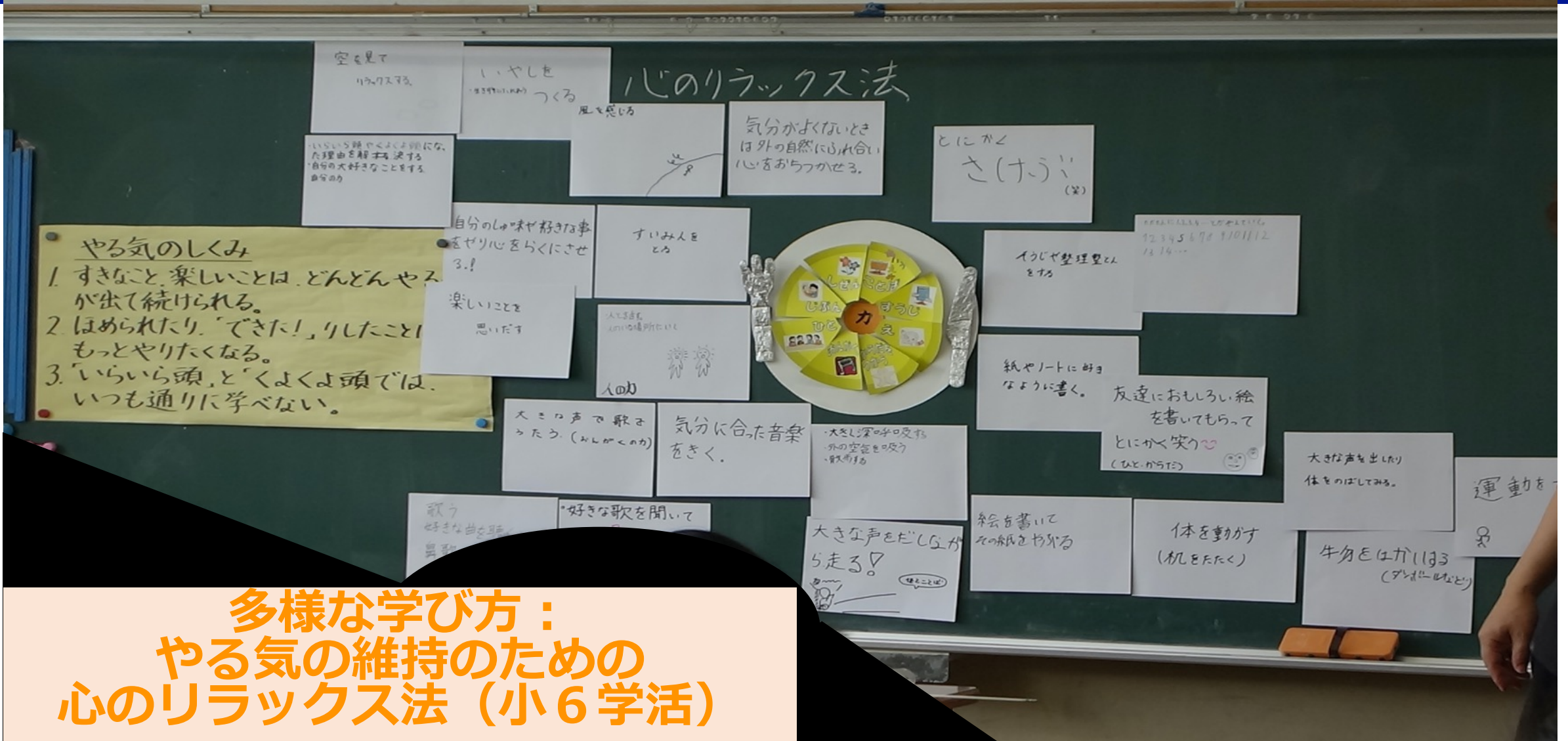
から抜き出したもの。

# 第7章 【実践紹介】 多様な子どもたちがいる学級で進めるアクティブ・ラーニングの実際



# 第7章—6. 6年間で育成する自ら考え工夫して学ぶ力

「学び方を学ぶ」ことに特化した授業の展開を探る 久武孝弘

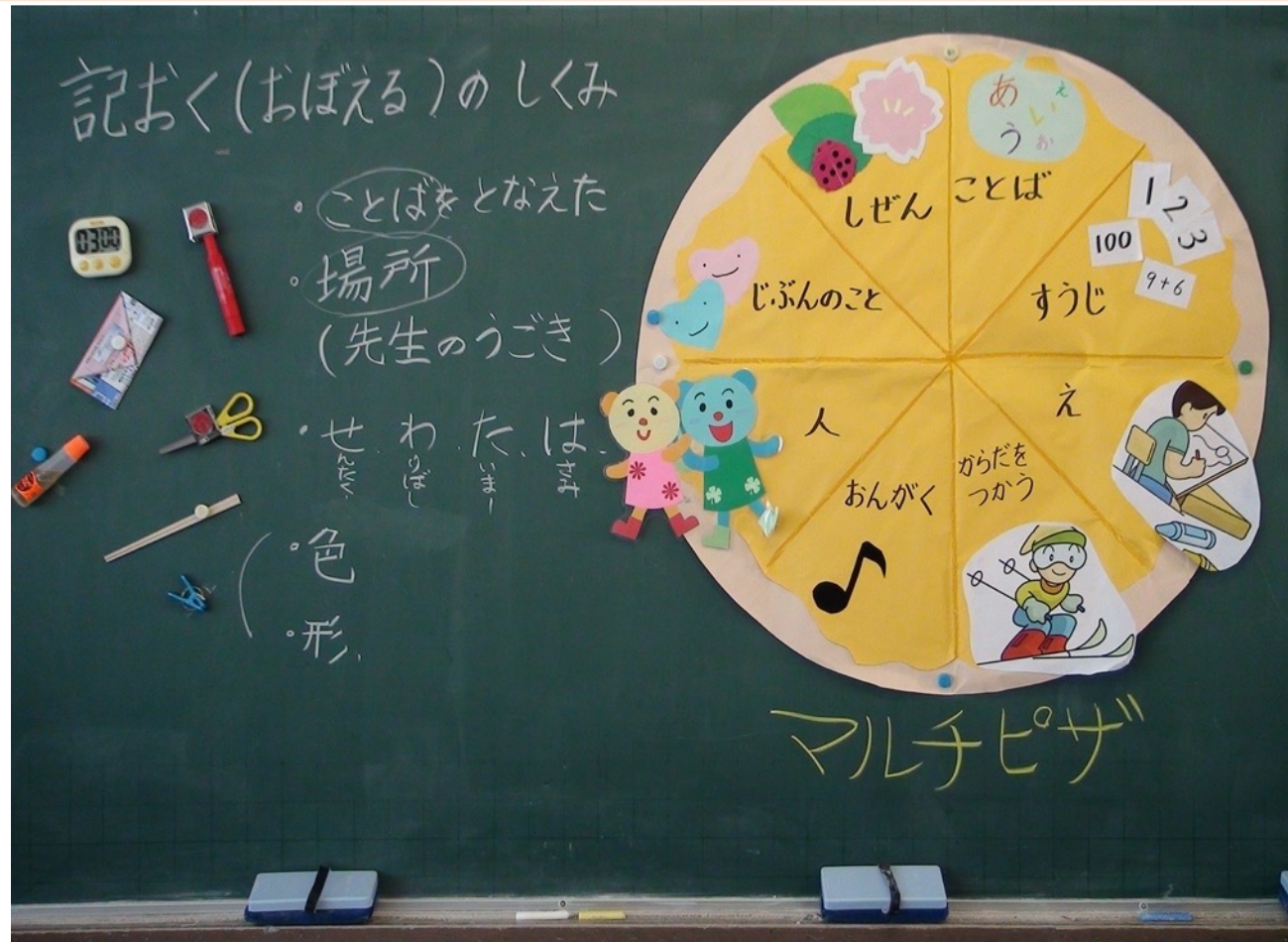


多様な学び方：  
やる気の維持のための  
心のリラックス法 (小6学活)

# 第7章—6 6年間で育成する自ら考え工夫して学ぶ力

## 「学び方を学ぶ」学習 —“やる・き・ちゅ”の理解のための学習—

実践例：記憶の学習：記憶の仕組みとコツ



青森県 三浦真子先生  
の実践から

# 記おきのコツ

あ. 

く	り	か	え	し
---	---	---	---	---

 の天才になろう。

い. おぼえることを 

す	き	な	も	の
---	---	---	---	---

 とむすびつけて考えよう。

う. おぼえることを 

せ	い	り
---	---	---

 しよう。

①まず、全体を大まかにつかむ。

②一番大切なこと<sup>は</sup> ~~と~~ どれかを見つける。

③同じもの、にているものをまとめたり、じゃんぱんにならべたりしてみる。

え. 8つのカ( 

マ	ル	チ	ピ	ザ
---	---	---	---	---

 )をいっぱいつかおう。

詳しい実践の内容やワークシート等は  
こちら↓を参照。



青森県 三浦真子先生の  
実践から

「学び方を学ぶ」学習 —“やる・き・ちゅ”の理解のための学習—

実践例：記憶の学習：記憶の仕組みとコツ

# マルチな漢字学習

枝で漢字をつくる

漢字の上に画数をかく

漢字を一行ずつかく

漢字をバラバラにしてパズルにする

マンガの中におぼえる漢字を入れる

ほう人間を使って漢字をかく

空書きする

リズムに合わせてかく

おぼえたい漢字の音をつたヒダメにする

自分でテストを作る

友だちとクイズにして出し合う

書きじゅんをかく

漢字をばらばらにしてへんとつくりに分ける

10 やる気・きおく・注意

はじめにかく所に色をつける

まちがえやすい所に色をつける

孫悟空 → 空

社算

国音

給食

昼休み

そうじ


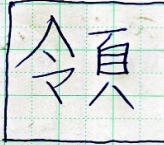
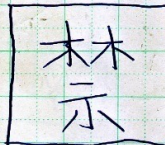
国

# マルチな漢字学習

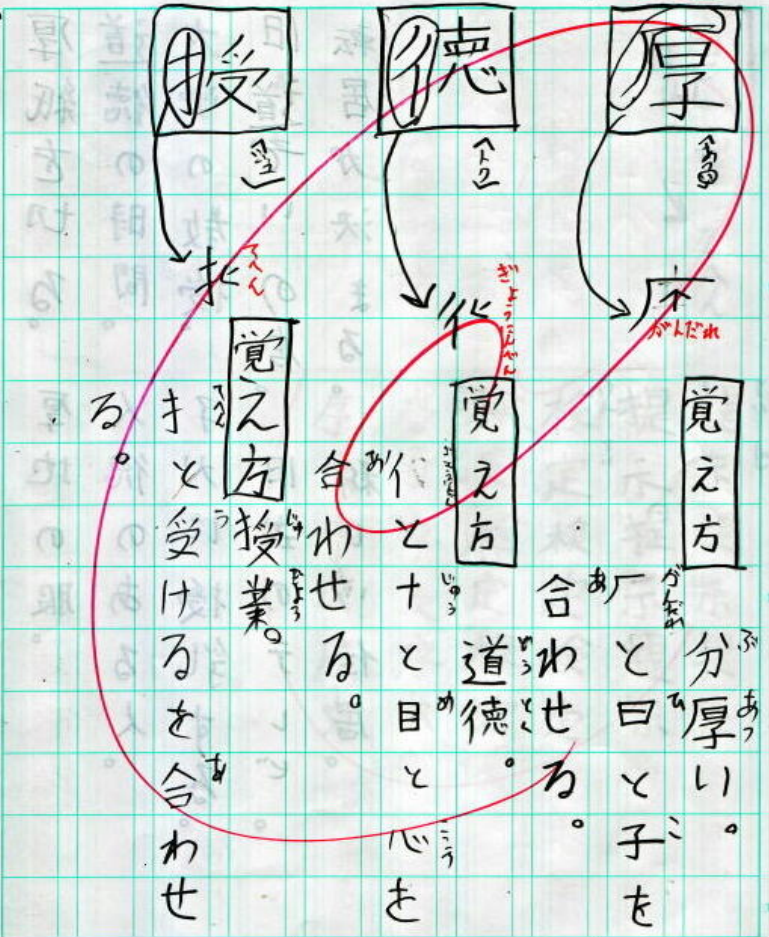
No. \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_

## 五十問テスト で問うた漢字②

マルチ漢字練習

		
漢字の計算 宀+刀+田=留	漢字の計算 令+頁=領	漢字の計算 林+示=禁
画数は... <b>10画</b>	画数は... 14画	画数は... 13画
留 留	領 領	禁 禁
留 留	領 領	禁 禁
留 留	領 領	禁 禁

月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 曜日 \_\_\_\_\_



授 (授) 徳 (徳) 厚 (厚)

扌 受 讠 徳 宀 冫 冫 水

覚 (覚) 方 (方) 業 (業) 目 (目) 心 (心) 子 (子) 目 (目)

覚 (覚) 方 (方) 業 (業) 目 (目) 心 (心) 子 (子) 目 (目)

覚 (覚) 方 (方) 業 (業) 目 (目) 心 (心) 子 (子) 目 (目)

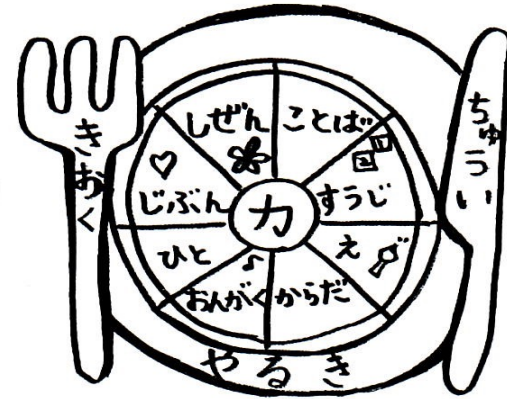
# マルチな漢字学習

## <学習をふり返ろう>

○どんなやり方で漢字練習をしましたか？

[ ]

使った力に色をぬろう！



○今回のやり方は自分に合っていましたか？・・・ 合っていた ・ 合っていなかった

理由

[ ]

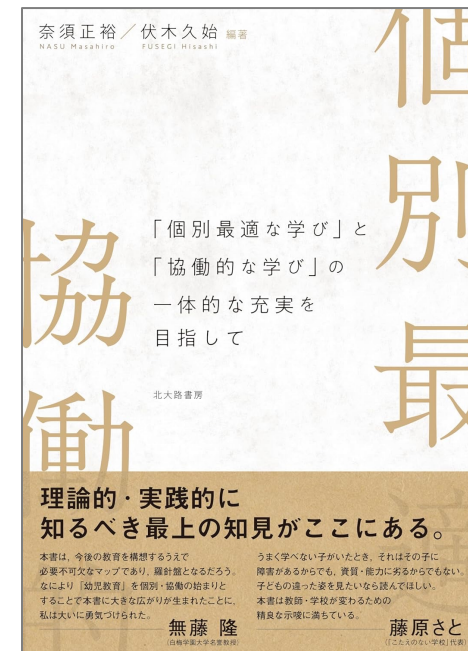
○次は、どんなやり方で漢字練習をしようと思いますか？また、なぜそう思いますか。

[ ]

—おわりに—

# 多様性に応じるために —陥りがちな誤解—

本物のインクルージョン, 共生社会の  
実現を目指して



2023.11.24 発刊

# 多様性に応じるために 一陥りがちな誤解

1. 授業のUD化 子どもに合った「教え方」  
ユニバーサルデザインはたった1つではないし、易しくすることでもない
2. 最終ゴール：  
○△教師のリードで複数の「学び方」を一斉に経験する  
VS ◎**学ぶ過程の複線化**  
◎**自分に合った学び方を子どもが選ぶ**
3. ×：「得意な」or「不得意な」という学び方の刷り込み  
○：**学習スタイル・学び方**のタイプ分けは傾向を示すが、**その課題解決**に役立つやり方・学び方は、**課題内容・経験・状況・その時あるリソースにより変わる**



# 多様性に応じるために 一陥りがちな誤解

【学び合い、協働化において】

4. × 個人作業（自分で考える）をしてからグループ作業  
◎ （班の座席で個人作業→）グループ作業→個人作業で学びを個へ還す

× 「わからない」と言えない苦しい雰囲気醸成

× 「一人でできなければならない」暗黙の空気

自分で考えて答えが見つかるならグループ必要なし。

5. 学習の成果でなく、**プロセス**を励まし、認める

ただし、何ができて何ができていないのか、きちんと個別に押さえておく。

「その学び方は合っていた？ 次はどう工夫する？」

釣った魚を千匹与えるよりも、  
一匹の魚を釣る**釣り方**を身につける  
ことが、人生を創造する鍵である。

「日本学び方研究会（1966）」



ご清聴ありがとうございました

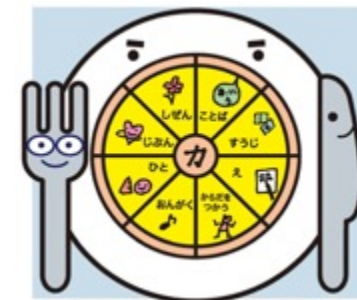
# 參考資料



# どの子ども伸びる ユニバーサルデザインな 授業・集団づくり



協同学習とマルチ知能の活用で  
一人ひとりのちがいを活かす支援を



独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

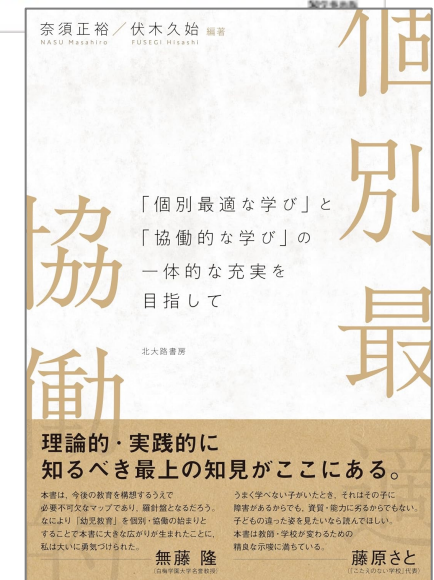
涌井 恵

# Youtube NISEチャンネル

<https://www.youtube.com/user/NISEchannel>

The screenshot displays the YouTube channel page for NISEchannel. The browser window title is "NISEchannel - YouTube - Internet Explorer". The address bar shows the URL "https://www.youtube.com/user/NISEchannel". The page content includes the channel banner with the NISE logo and a building image, the channel name "NISEchannel", and the description "国立特別支援教育総合研究所". Below this, there is a section for "アップロード動画" (Uploaded videos) with six video thumbnails. Each thumbnail includes a video title, duration, and upload date. The titles are in Japanese and relate to special education and autism support. The browser's taskbar at the bottom shows various application icons and the system clock displaying 13:58 on 2017/07/27.

# 関連書籍の紹介



ご静聴ありがとうございました。[質問等は mwakui@shirayuri.ac.jp](mailto:mwakui@shirayuri.ac.jp) まで